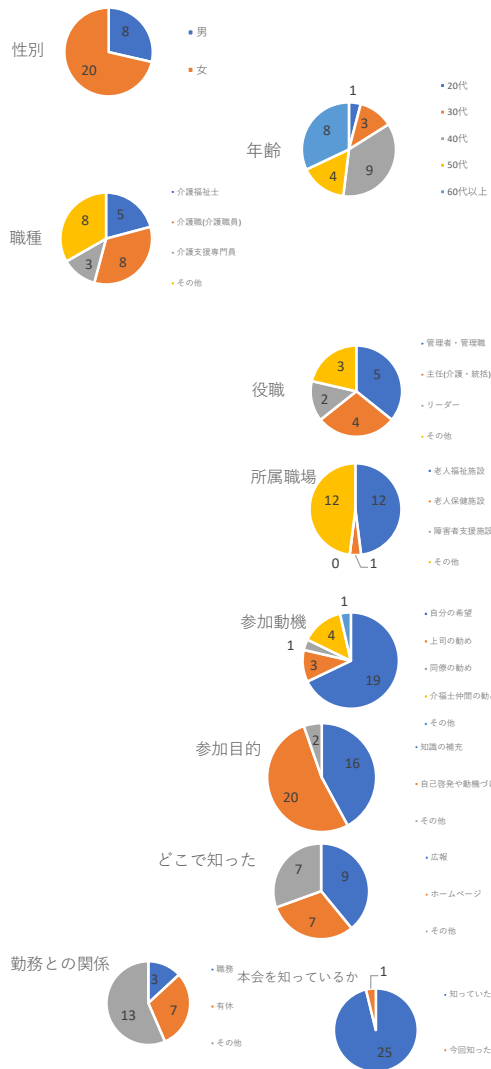


①性別	男	8	28.6%
	女	20	95.2%
②年齢	20代	1	4.0%
	30代	3	12.0%
	40代	9	36.0%
	50代	4	16.0%
	60代以上	8	32.0%
③職種	介護福祉士	5	20.8%
	介護職(介護職員)	8	33.3%
	介護支援専門員	3	12.5%
	その他	8	33.3%
④役職	管理者・管理職	5	35.7%
	主任(介護・統括)	4	28.6%
	リーダー	2	14.3%
	その他	3	21.4%
⑤所属職場	老人福祉施設	12	48.0%
	老人保健施設	1	4.0%
	障害者支援施設	0	0.0%
	その他	12	48.0%
⑥参加動機	自分の希望	19	67.9%
	上司の勧め	3	10.7%
	同僚の勧め	1	3.6%
	介護士仲間の勧め	4	14.3%
	その他	1	3.6%
⑦参加目的（複数回答）	知識の補充	16	42.1%
	自己啓発や動機づけ	20	52.6%
	その他	2	5.3%
⑧どこで知った	広報	9	39.1%
	ホームページ	7	30.4%
	その他	7	30.4%
⑨勤務との関係	職務	3	13.0%
	有休	7	30.4%
	その他	13	56.5%
⑩本会を知っているか	知っていた	25	96.2%
	今回知った	1	3.8%



⑪本会に希望する(記述)	研修の充実
	政治の世界でもっと福祉の現実を訴えてほしいです。
	研修を増やしてほしい
	介護福祉士という国家資格のブランドを守ってほしい
	介護福祉士のブランドをご利用者、ご家族にも理解してもらえようPRしてほしいです。
	介護の魅力を世間の住民に伝えていけるよう期待しています。
	①医療的ケアの研修(喀痰吸引等)を実施していただきたい。
	②利用者様の永眠時の対応について(行政への対応も含む)
	いつも介護福祉士会の研修楽しみにしています。
	①最近情報が欲しいです。②刺激になる事
	会でのすばらしいイベントや様々な研修を世間に知ってもらいたいです。また、資格を取ったら
	終わりではなく何年かに1度の研修の義務付けを行ったらと思います。
	いろんな分野の研修をしてほしい
	今のままで十分満足です。いつもありがとうございます。

⑫介護福祉士のイメージ	もっと勉強しなければならないと思いました。
	資格に対するプライドや仕事への熱意を感じました。
	本当に政治に携わっている人がいるのだと思いました
	介護福祉士は専門職でありながら、あまり自信が出ない職業です。研修を重ねながら少しずつではありますが、自分もできると思えるようになりました。
	資格がなくても仕事ができるが、自分自身も勉強を続けてプライドを持てるようにしないとけない。
	プライドを持って仕事をしていच्छることを改めて感じた。
	他の職種と比較にも恥じないプライドを持って業務に従事していこうと思います。
	私自身も本業としている仕事であり、利用者様の生活を支える大切な存在であると思います。
	いつも、研修では勉強させていただいています。ありがとうございます。
	世の中の介護福祉士に対するイメージは3Kとまだ悪いと思います。一緒に働く後輩たちには、私は自分のやりがいを伝えながら業務ではなく想いを伝えていきます。
	介護福祉士の資格を持っている人はたくさんいるはずなのに自分の資格の価値について高い認識(プライド)を持っている人はやはり少ないのかと思い、もっと頑張らないうと思います。
	共感できるお話が多く、改めて勉強させていただきました。「介護士」ではなく、「介護福祉士」であるという強いプライドをもってこれから仕事に取り組んでいきたいと思っています。
	若い皆様、介護施設の職員の方は大変なお仕事です。日々ボランティアとして活動させていただいてました。大変なお仕事やなーと実感させていただいています。今日のお話を講師の先生方から、教えて頂く縁ありがとうございます。
	利用者の生活歴をとらえ、そばに寄り添いその人らしい生活できることをサポートする。
	明るく、楽しいイメージです。元気いっぱい。元気を提供しています。
	介護福祉士としてプライドを持つことの大切さを強く感じました。
	利用者のことを第一に考え、その人にあった介護をする人。廣山先生の話の中で誰もが幸せになりたいと思って生きているので、尊厳人権を護ること生活支援者として大切にしていこうとんだと話されたことが印象
	今回のセミナーはとてもよかったと思います。
	一丸となって介護福祉の現場を少しでも良くしていこうという思いが実感できた。
⑬介護分野への要望	介護福祉士はケアマネより下に見られます。私はそう思っていますが、その気持ちを持たなくてよくなるような社会になればいいと思います。介護福祉士会への入会が必須になるような社会になってほしいです。
	「存在感」「共生社会」「個人の尊厳」この分野の人間ではないですが、自身の仕事をやっていく中で持っているキーワードと合致するものがあり、聴講してよかったと思いました。面白かったです。
	介護や福祉に携わる仕事を一生の仕事にしたい、できる状況になるよう共に頑張りたいと思います。
	外国人人材へのアフターフォローをしっかりとしていきたいし、他業種で見られるような不当な扱いがされないようにしていただきたい。
	介護福祉士の国家資格の取得ってスタートであって、そのあとの研鑽を重ねて成長していく職種であると考えています。(現場の力量はバラバラです)もっと、社会的地位を高めていくためにも必要と考えるので、ファーストステップなどが法定研修になってもよいと思います。それにも、助成があれば、介福取得者も必要性を認識してもらえるのではないのでしょうか。
	ちびっ子たちに介護の仕事があることをもっと知ってもらえたら
	外国人の方がどんどん入ってくる中、質を落とさないようにどの様に指導していけばよいのか不安を感じます。一緒に学ぶ場があればと思います。
	一つ一つ心の灯として袈裟内容、忘れたら思い出し、日々お会いできる利用者の方々と共に大切に生かされていることを共に明日も大切に出会いを大事にして参加します。ありがとうございます。
	この分野を経営する法人のレベルを上げる、認可のハードルを上げることが必要だと思います。(例えば、経営者が介護福祉士を大切に思っているのか)中田氏が言われたように介護福祉士が一人で事業をすることができない。どこかの法人で働くことになるのですから。
	今後のことを時代氏に会った内容伝えてほしいです。これから先のことを教えてほしいです。
	もっとAIを利用して、日本ならではの介護を確立して欲しい。北欧を見習うだけではなく、日本発信の日本の介護を世界へ
	介護福祉士資格取得を変えることが、国家資格として軽く見られたくないのでもそろそろ考えて欲しい。技術では実技試験をなくしたことも含め介福を持っていても声掛けができない職員が増えただけです。現場からも声が上がっています。